

産興セキノ 奥能登地震被災地向けにチラシ配布 地震に強い金属屋根PR

セキノ興産（本社・

富山市水橋開発、社長・山口輝雄氏）は、軽量の金属屋根が地震に強い製品であることをPRするため、石川県板金工業組合と連名でチラシを作成。5月5日に最大震度6強の大地震（奥能登地震）に見舞われた珠洲市の板金店や工務店、一般向

けに配布している。金属屋根の重量は和瓦に比べ約6分の1と軽いため、建物の減震効果が期待できる。同社の和風調長尺金属瓦「かわら455」をはじめとする金属屋根製品への置き換えを提案する。北陸営業部の山本慎一郎は「一般の方々にも金属屋根が地震に強いことを知ってもらえる機会になれ

金属屋根は軽く減震につながる点をPR

県は2023年度6月補正予算で、奥能登地震からの復旧・復興の費用として97億円を計上。半壊の住宅に最大100万円を支給するなど被災者の生活再建に向けた支援策を盛り込んでいる。

